

○アダプチノール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ヘレニエン helenien 【分類】 暗順応改善剤

【単位】 ○5mg/錠

【常用量】 10～20mg/日

【用法】 分2～4

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 キク科の植物の花弁より抽出された植物色素で、夜盲症に対する治療効果が知られていた。一般暗順応現象は 10～15 分経過後に初めて現れるものであるが、重要なことは光線が目眩してから、なるべく早く正常な鋭敏度を取り戻すことが必要だとされている。本剤は網膜でエステル分解を受け、キサントフィルに変換されて作用を現す。杆状体細胞では暗所での視紅合成促進作用を現し、第二次暗順応を改善または促進する。同時に錐状体機能を促進し、第一次暗順応（初期暗順応）をも促進する。

【主な副作用・毒性】 羞明、光視症、下痢、軟便、疲労感、頭部圧迫感など

【F】 ルテインとして 45～54% (1)

【tmax】 4hr (1)

【代謝】 細胞内でβカロテンオキシゲナーゼにより中央部が切断され二分子に分解 (1) 網膜に分布したカロテノイド（ルテイン、ゼアキサントフィル）は酸化、還元をうけて 3'-epilutein に代謝される (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 0% (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 1045.71

【透析性】 透析されない (1)

【OW 係数】 資料なし (1)

【備考】 酸素、光に不安定であるため二重錠になっている

【更新日】 20140821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。